

千葉工業同窓会報

平成23年3月1日

第22号

発行 千葉工業同窓会



レクリエーション委員会の活動より(平成22年度)

目次

楽しい同窓会づくり For the 同窓会	愛・時・命の3部作<浮展を見て> 早尾 茂…… 19
会長 高橋正己…… 2	クラス会だより …………… 20
夢の始まり 校長 天野角男…… 2	28E 喜寿記念クラス会の様子 金子 健
総務委員活動この一年 佐川 一…… 3	34M 同期会 土屋孝夫
環境整備委員会の活動について 大野繁樹…… 3	36M-B 3年連続クラス会 大野繁樹
広報編集委員会の活動報告 若月忠良…… 4	37M-B 3年連続クラス会 松崎文男
同窓祭実行委員会の活動報告 宮崎一雄…… 4	39M 卒業45年、クラス会開催 大塚英明
千葉工業同窓会 役員名簿 …………… 4	「千工サッカー部OB会」を設立 …………… 22
千葉工業同窓会事務局報告 松浦 悟…… 5	卒業後の半世紀を振り返れば 35E生…… 23
同窓会報基金の報告とご協力依頼 松浦 悟…… 5	千葉工業高校この一年 …………… 24
レクリエーション委員会の活動報告 深山 傳…… 6	・創立記念講演会 ・第65回国民体育大会100日前イベント
・ゴルフ同好会 ・麻雀同好会	・ものづくりコンテスト全国大会出場 ・ロボット相撲全国大会出場
・囲碁同好会 ・ハイキング同好会	・定時制サッカー部2年連続全国大会出場 ・山岳部JOC出場
新支部長の抱負 …………… 8	・修学旅行は今年も九州へ ・第58回千工祭 ・総合技術コンクール知事賞受賞
南総支部長として… 齊藤 誠一郎	・ベトナム国際交流事業 ・2年生がインターンシップ ・芸術鑑賞会
京葉支部長「同窓会は不滅の組織です」 川村 義郎	平成22年度進路状況(全日制)・新聞NEWS …………… 26
支部だより紹介 …………… 9	千葉工業高校吹奏楽部合同演奏会Spring Concert案内 …………… 27
・南総支部 ・外房支部 ・千葉市西支部	同窓会幹事会の開催 …………… 27
・京葉支部 ・市原市支部 ・北総支部	原稿・情報をお待ちしています …………… 27
・東葛支部 ・千葉市東支部 ・千葉市中支部	「同窓・千工会」地域支部会員、大募集 …………… 27
千葉工業歴代の校長について 永峯清秀…… 14	編集後記 …………… 27
「千葉竹とんぼ倶楽部」創立十周年 湯浅 稔…… 18	第26回「同窓祭」開催のご案内 …………… 28

楽しい同窓会づくり For the 同窓会

千葉工業同窓会会長 高橋 正己 (32C)



宮内会長の辞任に伴い後任として、同窓会会長を引き継ぐことになりました、32C高橋正己です。重責を担う事になりました。

誇りある千葉工業同窓会の伝統を後退させる事は許されません。会員の方々の

絶大なるご協力とご支援をいただく中で、微力ではありますが全力を尽くす所存です。

母校、財団法人千工会そして千葉工業同窓会、それぞれが独自性を尊重しつつ連帯を深め共に発展して行く事に努力致します。

千葉工業同窓会はもとより親睦の団体でありませぬ。親しく睦み合い楽しく集う団体でなければなりません。様々な機会を捉えて親睦の輪を広げたいと考えています。

同窓会本部並びに地域支部が発行する会報、ま

た会員名簿を通じて想いをふくらませ千葉工業同窓会へ歩を進めて下さい。

年に一度母校で催される同窓祭に足を運んで下さい。又地域支部の総会も覗いて下さい。

千葉工業同窓会活動の原点は、地域九支部の活動にあります。地域九支部が独自のカラーで活動を深め、広く情報を発信して頂きたいと思いません。私は「楽しい同窓会作り」をスタッフと共有し、推進したいと思っています。風通しをよくしベクトルを合わせて、for the 同窓会で頑張ります。ご支援ご協力を宜しくお願い申し上げ、就任の挨拶と致します。

●会長プロフィール

- ・32C卒 高橋 正己 (72) 東金中
- ・外房支部 支部長2期 本部副会長1期
- ・趣味 花木雑作、ゴルフ、バンド演奏、読書
- ・家族 妻、子(2)、孫(4)
- ・在住 東金市内

夢の始まり

千葉県立千葉工業高等学校長 天野 角男



千葉工業高校の勤務が、3月末に終わる。昭和51年4月に教員になって以来35年間の教職生活が、幕を閉じる。京葉工業、茂原工業、東総工業、清水高校、市川工業、千葉工業と転勤してきた。千葉県は、

まっこと広い。広すぎる。千葉市内に住んでいても、工業高校を転勤するのは、覚悟がある。通勤で人生が終わってしまった。もちろん、職務には最大限精進した。

だが、教育の夢は、勤務時間をいくら精進しても、夢の実現には、ほど遠い。教育の夢の実現は、勤務時間以外の時間で起きている。生徒の夢を実現するには、生徒の数だけ先生が必要だと感じた。全定生徒定員920人の大規模校だ。職員

含めると1,000人以上の大企業だ。この大企業の実績は、誠に素晴らしい。その功績は、毎年毎年、著しい。私は、この大企業を、誇りに思う。そして、この大企業で学んだ卒業生並びに職員に心から感謝申し上げる。学ぶ生徒も成果を出すのに大変であったでしょう。指導者も実績を出すのに御苦労されたことと思います。それは、今もなお、脈々と受け継がれています。

私は、はじめて千葉工業に勤務し、二年間が終わると共に、退職となります。同窓生の皆様には、懇切丁寧に、力強い御指導を賜り、此上もない喜びでありました。御陰様で、健康で過ごすことができましたことを、心より感謝申し上げ、御礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

総務委員活動この一年

総務委員長 佐川 一 (32C)



日頃、千葉工業同窓会が元気なのは、地域支部の元気によるところが大きいと考えています。

22年度の支部長連絡会議に於いては、活動の中身について幾つかの課題の提起がありました。

何れも古くて新しい課題ではありますが、難しい問題です。

1. 新会員の加入が思うように進まない

2. 支部活動費が不足気味

課題解消に資金面も含めて積極的に本部として、取り組まなくてはならないと考えています。

新会員の加入活動に要する費用、旅費等の助成を検討して行きます。

インターンシップは企業と学校の関係が良好に確立されており、2年生全員が就業体験を受けています。同窓会は体験発表会に参加し、企業一学校の懇親会にも参加し意見交換を行いました。22年

度も就職希望者は全員100%就職できました。

環境整備委員会は、大野委員長を中心に学校一PTAと一緒に、環境の整備を行いました。元PTAのご婦人5名に加入を頂き、年4回の植栽に協力を頂きました。

支部会員の更なるご協力を、お願い申し上げます。

8月に宮内会長が辞任され、高橋会長代行の会長承認を得るため、数回の常任幹事会を開催しました。11月13日、同窓会総会に代わる幹事会開催に向け、クラス幹事の方々に390通の開催通知案内を発送しました。この中でクラス幹事であることを知らない方が数多くおられ、今後の検討課題として残りました。

活動を通して感じたことは、高齢化による会員の減少が目立ち始めている事です。

今後の同窓会発展に、若い方々の加入をお願い致します。

環境整備委員会の活動について

環境整備委員会委員長
大野 繁樹 (36M)



長年(約5年)環境整備委員長として活動して頂きました山本委員長が都合により交代して欲しいとの事でしたが、私も断わり切れず、11月で山本委員長と交代する事になりました市原市支部

の大野と申します。何分にも慣れないものですから、途惑いと不安が大きく心配です。

山本委員長のもとで四季折々の花の苗を植栽して来ました。参加した皆様は大変協力して頂き、作業も効率的に実施していました。これからも協力をお願いします。

さて22年度の植栽活動は5月の春季植栽(マリーゴールド)、9月の秋季植栽(ペゴニア)、11月の整備作業はカンナの刈取り、野球場裏フェンスのつる草取りをしました。1月は冬季植栽(パンジー)の予定です。この花は卒業式、入学式、高校野球の抽選会、同窓祭、創立記念日等に対面します。

参加している方々は、同窓会委員の他に松浦事務局長をはじめ学校関係者、元PTA役員数名の参

加を頂き、予定の作業を実施しています。更に花の選定、購入手配等は山下先生にご面倒頂き順調に作業が進み、助かっており大変感謝しています。そして、元PTA役員の方々の協力で、作業後昼食時に生徒会館でおいしい豚汁を作って頂き、ありがとうございました。

今年度の最後として、卒業式、入学式を迎える事となります。会員の皆さんの絶大な協力のもとに、学校周辺に花の咲いている状態でお客様を迎え、生徒の人達にも四季折々の花の中で和やかに勉強ができます様に、今後も1人でも多くの参加、協力をお願いします。



広報編集委員会の活動報告

広報編集委員長 若月 忠良 (37M)

宮内前会長の指名を受け昨年5月に広報担当の副会長になりました。若月です。前任者の長谷川さんから同窓会報の編集という大役を引継ぎました。

何分とも初めてですので、副編集長に外房支部長の住田敏和さん(31E)に就いていただき、本部、各支部、編集委員、諸先輩、母校先生方の協力を得ながら第22号を編集してきました。

先輩方の偉大さを実感しながら、編集活動に携わっています。本号の記事は、9支部だより、永峯元校長先生の「千葉工業歴代の校長について」、「千葉竹とんぼ倶楽部10周年」等を掲載

しました。

本年度の活動は

- ① 7/15 各支部長に編集委員選出のお願い
- ② 9/15 第1回編集委員会開催 方針
- ③ 11/15 第2回編集委員会開催 原稿集め
- ④ 1/15 第3回編集委員会開催 校正
- ⑤ 3/ 1 第22号同窓会報発行

等を実施、無事に同窓会報を発行できました。

今後とも高橋会長の「楽しい同窓会」を合言葉とし、皆様の同窓会にしたいと思っております。ご協力・ご支援の程よろしくお願ひします。

同窓祭実行委員会の活動報告

同窓祭実行委員長 宮崎 一雄 (42C)

5月に総会で選出されました42C卒の宮崎一雄です。この度、同窓会本部副会長という大役をおおせつかり、「第26回同窓祭」の実行委員長を担当させていただくことになりました。初めての経験なので、皆様方のご支援ご協力により同窓会活動を進めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

平成22年4月4日(日)「第25回同窓祭」が母校にて開催されました。春先の天候不順もあって、見頃が心配された校庭の桜も、この日を待つかのように満開となって同窓生を迎えてくれました。

同窓祭のオープニングは「校旗入場」、今年も山下先生(47E・現在京葉工業高校勤務)が旗手を務められていたが、その両手に握られた校旗を見ると、一気に学生時代にタイムスリップするのめ伝統の力でしょうか。

続いて、物故者に対し黙禱を行い哀悼の誠を捧

げ、以下式次第に従い同窓会長挨拶、学校長挨拶、来賓祝辞等々と進行し、乾杯後恒例の「吹奏楽OB・OG会による演奏」、喜寿となられる方に、会長から粗品の贈呈がなされました。

また、千葉竹とんぼ倶楽部による「スーパー竹とんぼ教室」の開催、渡辺武雄氏による「チョイナ節健康体操」「ばか面踊り」等が催され、終盤の校歌合唱で大変盛り上がりしました。

【活動状況】

- ・ 2/19 第25回同窓祭実行委員会
- ・ 4/ 4 第25回同窓祭
- ・ 6/ 8 第25回同窓祭反省会.
- ・ 10/ 7 同窓祭開催方法の検討会
- ・ 12/ 2 第26回同窓祭実行委員会
- ・ 2/23 第26回同窓祭実行委員会
- ・ 4/17 第26回同窓祭

千葉工業同窓会 役員名簿

2011年1月1日現在

会長	顧問				
高橋 正己 (32C)	段木 正視 (20C) 天野 角男 校長				
副会長	事務局	会計監査	環境整備委員長		
総務担当 佐川 一 (32C)	局長 松浦 悟 (53E)	宇野 昭房 (34M)	大野 繁樹 (36M)		
広報担当 若月 忠良 (37M)	次長 中村 啓介 (60E)	高石 進 (35M)			
レク担当 深山 傳 (38E)	会計 島貫 輝 (61E)	斉藤 公彦 (37C)			
同窓祭担当 宮崎 一雄 (42C)					

千葉工業同窓会事務局報告

事務局長 松浦 悟 (53E)

千葉工業同窓会は、今年度右の予算で活動しています。本会は母校への助成活動、会員の親睦を目的に活動しております。同窓祭や委員会活動、各支部の活動など、県下でも一番積極的な同窓会活動をしています。皆さまの参加をお待ちしています。

平成22年度の本部事務局の主な活動を報告します。

- 平成 22年 4月 4日 第25回同窓祭、第9回竹とんぼ教室
 8日 入学式
 11日 外房支部総会
 24日 千葉市西支部総会
 5月 1日 創立記念講演会、常任幹事会
 9日 京葉支部総会
 16日 同窓会幹事会
 22日 市原市支部総会
 6月 6日 東葛支部総会
 13日 北総支部総会
 20日 千葉市東支部総会
 7月 11日 千葉市中支部総会
 8月 2日 三役会
 9月 11日 支部長懇談会、三役会
 12日 千葉竹とんぼ倶楽部十周年
 10月 28日 三役会、会長選考委員会
 30日 千工祭
 11月 11～13日 就業体験学習(インターンシップ)
 12月 15日 同窓祭実行委員会、三役会
 平成 23年 3月 4日 卒業式
 13日 南総支部総会
 26日 吹奏楽部OB演奏会

平成22年度 同窓会予算

収入の部 (単位:円)

科目	金額
繰越金	2,470,164
入会金	810,000
名簿代	765,000
助成金	5,000,000
繰入金	800,000
負担金	160,000
雑収入	2,836
合計	10,008,000

支出の部 (単位:円)

科目	金額
名簿作成費	1,200,000
文化費	600,000
会議費	250,000
通信費	30,000
教育功労費	200,000
行事費	1,600,000
支部助成費	1,100,000
事務費	600,000
会報発行費	2,500,000
渉外費	1,100,000
予備費	828,000
合計	10,008,000

同窓会報基金の報告とご協力依頼

事務局基金担当 松浦 悟 (53E)

会報発行を円滑に進めるため、会員の皆さまに「同窓会報基金」への寄付をお願いしましたところ、例年以上の多くの方から多額のご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。会報発行の資金とさせていただきます。今後ともご協力の程よろしく願いいたします。

同窓会報基金特別会計について下記のとおりご報告いたします。

同窓会報基金特別会計報告

平成21年度 収入の部 (単位:円)

支出の部 (単位:円)

科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
繰越金	4,469	前年度繰越金	繰出金	460,000	21年度一般会計へ
寄付金	460,000	第21号基金	合計	460,000	
合計	464,469		繰越金	4,469	

平成22年度 収入の部 (単位:円)

支出の部 (単位:円)

科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
繰越金	4,469	前年度繰越金	繰出金	1,040,000	22年度一般会計へ
寄付金	1,036,000	第22号基金	合計	1,040,000	
合計	1,040,469		繰越金	469	

平成22年1月16日から平成23年1月28日までの寄付金は550名、1,036,000円でした。ありがとうございました。

レクリエーション委員会の活動報告

レクリエーション委員会委員長 深山 傳 (38E)

レクリエーション委員会には、4つの同好会（ゴルフ、麻雀、囲碁、ハイキング）があります。これらの同好会に参加されている会員は361名【ゴルフ（127名）、囲碁（48名）、麻雀（66名）、ハイキング（77名）】と非常に多くの方々が何らかに参加し、親睦と融和を図っています。

平成22年度の活動内容をご報告しますが活動状況を読まれ、今後も会員の皆様が多数参加され英気を養ない「楽しく、元気で、長生きをしよう」ではありませんか。

○ゴルフ同好会



ゴルフ同好会は127名が登録され活動をしています。第12回のコンペは、「真名CCゲレープレイヤーコース」で平成22年10月19日（火）に56名の参加を得て盛大に開催し、快晴でかつ無風の絶好のゴルフ日和に恵まれ、日頃精進されてきた腕前を遺憾なく発揮され、ゴルフを満喫されました。

成績は、個人戦の優勝 林 伸男（千葉東）、準優勝 市川新一（外房）、三位 長田幸一（市原市）の各氏でした。続いて団体戦は各支部の上位3名のスコアを集計し順位が決定され、優勝チームは千葉東（林 伸男・高山英臣・嶋村英男）、準優勝チームは外房（市川新一・吉清 貴・高橋正己）、三位チームは市原市（長田幸一・立野幸一・半沢好枝）の各支部でした。

今年も恒例に従いゴルフに参加された皆様のチャリティー募金から2万円を「社会法人千葉市社会福祉協議会」へ平成22年10月22日に寄付をし

ました。

第13回本部ゴルフ大会は、今回と同じ「真名CCゲレープレイヤーコース」において平成23年10月18日（火）スタート8時30分で仮予約をしたので多数の参加をお待ちしています。

ゴルフ同好会事務局長：市川 新一 38M

電話 0475-23-1047

○麻雀同好会



麻雀同好会は8支部68名が登録され活動をしています。第15回のマージャン大会は、32名（8卓）と多くの会員の参加を得て、平成22年10月23日（土）にJR千葉駅前の「麻雀大都」において盛況に開催され、日頃の腕を競い合うと共に親睦と融和を深めることができました。

また、大会終了後には近くの居酒屋に参加者の大半の雀士が参集し、勝負してきた戦況を時間を忘れるほど麻雀談義に酔いしれていました。

成績は以下の通りです。個人戦の優勝者は石井孝司（30E千葉西）、準優勝 佐久間 泉（34E南総）、三位 桜井輝亜（34E千葉西）の各氏でした。また、団体戦は今回から各支部の上位3名の合計点に見直しましたが、優勝チームは1,980点の千葉西（石井孝司、桜井輝亜、布施茂勝）、準優勝チームは698点の北総（海保 悟、山田英興、岩井澄男）、三位チームは356点の千葉中（泉崎謙一郎、古川仁司、小倉 正）の各支部でした。

麻雀同好会事務局長：木間 英一 33C

電話 047-343-0455

○囲碁同好会



囲碁同好会は48名が登録され活動をしています。本年も学校の夏休み期間に在校生との親善大会を開催し在校生との交流を図ると共に、同好者間の親睦と融和を図っています。

第31回大会 平成22年 4月20日 (火)

第32回大会 平成22年 7月27日 (火)

生徒との親善交流大会

第33回大会 平成22年10月26日 (火)

第34回大会 平成23年 1月18日 (火)

に千葉市西千葉囲碁センターで開催されました。

平成23年度も4回の開催を予定しているので、是非、新規入会者を希望していますので参加をお願いします。連絡先は下記まで、お待ちしております。

囲碁同好会事務局長：石井 孝司 30E

電話 043-241-2526

○ハイキング同好会



この度、長年に亘りハイキング同好会事務局長を務めて来ました関口昌利さん(30M)より大役を引き継ぐことになりました腕木武男(38E)です。皆様のご指導・ご鞭撻をお願いします。

ハイキング同好会は77名の会員で年2回の活動

を実施しています。4月は名所・旧跡を訪ねてのウォーキング、12月には関東周辺の山々のハイキング(軽登山)を実施しています。

春(4月10日)には京成臼井駅から白井城址を經由し印旛沼へ。湖畔の遊歩道はソメイヨシノの桜並木が続き、満開の桜吹雪を浴びながら、一瞬オランダを思わせる風車と一面に咲き乱れ赤・白・黄色等のチューリップ畑へ。

花を満喫した後は食事と酒を満喫し、食後は近くの歴史民俗博物館へ行き各自見学後解散、春の爽やかで素晴らしい景観を堪能した一日でした。

冬(12月4日)には「駒ヶ岳～神山～大涌谷」のハイキングを実施22名の参加者でした。前日の台風並みの大荒れで心配したが、当日は早朝から雲一つ無い絶好の登山日和となった。千葉駅からバスで箱根駒ヶ岳ロープウェイ乗り場へ向かいロープウェイで一気に山頂へ。気温-1℃にも係わらず風も無く暖かく感じました。

全員駒ヶ岳山頂へ向かい、雪化粧の富士山をバックに記念撮影し、神山へ一歩一歩踏みしめながら20名で登山を開始。およそ90分で神山山頂に到着、昼食後大涌谷に向けて下山、65分の下り道は辛い人もいたが、登山者20名全員無事麓に到着。バスで到着していた2名と合流し22名全員揃ったところで記念撮影して帰路についた。

霊峰富士を見ながらの登山と一日の疲れを癒す「温泉」に入れたことは至福の一日を過ごすことができました。

平成23年度も2回の行事を計画していますので我もと思う方は下記まで連絡下さい。

ハイキング同好会事務局長：腕木 武男 38E

電話 043-294-7969

平成23年度 同好会開催予定

同好会名	開催日	開催場所
ゴルフ	23.10.18	真名CCゲリープレイヤーコース
麻雀	23.10.22	麻雀大都
囲碁	23. 4.19	西千葉囲碁センター
	23. 7.26	
	23.10.25	
	24. 1.17	
ハイキング	23. 4. 2	房総のむら(風土記の丘)
	23.12. 3	高尾山

支部だより紹介

同窓会には、九つの地域支部があります。

各支部には、支部の設立趣旨に賛同された同窓生が、若干の年会費を納めて加入されています。勿論、支部へ加入されなくても、皆様が同窓会員である事には変わりはありませんが、いずれかの支部へ加入される事に依って、より多くの同窓生と交流する機会が増し、より有意義な人生を送る事ができるでしょう。

まだ加入されていない方は、この機会に是非加入をされます様、お願い致します。

各地域支部 定期総会開催予定

	支部名	地 域	開催月日	開催場所
①	南総	袖ヶ浦、木更津、君津、富津、鋸南町以南	3月13日(日)	君津市・千成ホテル
②	外房	東金、山武、大網、茂原、長生、夷隅	4月 3日(日)	東金市・八鶴亭
③	千葉市西	美浜区、花見川区、稲毛区	4月23日(土)	千葉市・プラザ菜の花
④	京葉	船橋、習志野、鎌ヶ谷、八千代	5月 8日(日)	船橋市・フローラ西船
⑤	市原市	市原市全域	5月21日(土)	市原市・サンプラザ市原
⑥	北総	成田・栄、佐倉、四街道、八街、印西、香取	6月 4日(土)	成田市・メルキールホテル成田
⑦	東葛	市川、浦安、松戸、柏、我孫子、野田、 県外	6月12日(日)	我孫子市・鈴木屋本店
⑧	千葉市東	若葉区、緑区	6月19日(日)	千葉市・プラザ菜の花
⑨	千葉市中	中央区全域	7月10日(日)	千葉市・プラザ菜の花

◎支部だよりの○数字は定期総会開催日の順番、支部長名、連絡電話番号、地域、総会開催日、総会場所

①南総支部だより

支部長 齊藤 誠一郎 (37E)

●電 話 / 0439-52-3059

●地 域 / 袖ヶ浦、木更津、君津、富津、鋸南町以南

●定期総会 / 平成23年3月13日(日) 君津市 ホテル千成

南総支部会員185名、3月の定期総会に始まり春の行事に「潮干狩り」、夏の「花火大会見物」、秋の「親睦宿泊旅行」、役員会議や編集会議で利用している木更津中央公民館の「公民館まつり」に参加して模擬店で焼き鳥等を販売する離れ業をします。また、集まろう会と称し、春に「たけのこ狩り」、冬には「ボウリング大会」と体を大いに動かし、会員、家族と懇親を深める活動を行っています。

各地域において、普段なかなか会えない仲間とお酒の席での情報交換・交流を図れるように「地区懇親会」を開催しています。「忘年会」では古希を迎える先輩のお祝いをしています。支部会報の「南総だより」は、年に3回発行し昨年の7月に第100号の記念号を発行することが出来ました。これは多くの会員の皆様のご協力と、諸先輩

の努力のたまもの以外にありません。

更に150号200号を目指しますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

これからの支部活動では、本腰の取り組みで新入会員の募集をテーマとしております。会員は増えてはいるものの、ここ数年退会する方も増えてきている中で、小関公平先輩(17CⅡ)の呼びかけで、「発足当時のあの頃」の原点に返った仲間づくりを目指すことになりました。近隣、職場、クラス会など、あらゆる機会をとらえて支部に加入して貰う呼びかけをすることが大事なことと思います。本部同窓会名簿から南総地区の卒業生を抜き出した名簿を作成して頂きました。会員勧誘パンフレットも作成し、有効手段である「口コミ」を活用しながら、一人ひとりが仲間を増やしてゆこう！と、南総支部は張り切っています。

②外房支部だより

支部長 住田 敏和 (31E)

- 電話/0475-73-4558
- 地域/東金、山武、大網、茂原、長生、夷隅
- 定期総会/平成23年4月3日(日) 東金市 八鶴亭

外房支部は「外で遊ぼう(房)」をキャッチフレーズに、情報を共有して楽しく活動することを心がけています。会員も多士済々で「外で遊ぼう」だけでなく、芸術・文化活動も盛んです。会員間のメールネットワークも42%に達し、つぶさに情報が手に入り、誘い合って出かけます。

昨年行った主なイベントや、会員が関係したトピックの一端をご紹介します。

*「日帰り見学バスツアー2回」

- 1：東京タワー⇒寅さん記念館⇒葛西臨海公園水族館。
- 2：東京メトロ運輸総合指令所⇒日本銀行⇒JAL羽田整備工場。

*「なのはな写真展」並木さん(34M)が主宰する写真展で、並木さん、小高さん(32E)が出演。今年は4月28日～5月3日の予定です。

*陶芸家の宮井さん(36E)が「東金市文化団体協議会の会長」に就任。益々のご活躍が期待されます。

*「有志見学」自衛隊峯岡基地一般公開。

*茂原七夕祭り、阿波踊りの部で、市川さん(38M)と久保田さん(42M)が所属する「ガス連」が「知事賞、茂原市長賞」を獲得。

*「絵画三人展」永島輝代〔永島さん(31E)夫人〕さんの、ご家族3人による絵画展。右半身の自由を失う障害をもちながら、過去7回の個展を経験され、今なお創作意欲満々の、輝代さんのパワーに唯々感服。

*「外房ハワイアンダンディズ」

会員4名と、会員の友人2名で結成したバンドです。「老人ホーム慰問4ヶ所、延べ6回」。最近では、ダンス教室に通う女性数人も交え、合同で慰問に行きます。「ホテルグリーンタワー千葉での某パーティに依頼されて演奏」。ご依頼があれば、皆さんの支部へも喜んでお邪魔しますよ…。

以上、紙面の都合で写真が無いのが残念…。

文作成 副支部長 吉清 貴 (34C)

③千葉市西支部だより

支部長 石井 孝司 (30E)

- 電話/043-241-2526
- 地域/美浜区、花見川区、稲毛区
- 定期総会/平成23年4月23日(土) 千葉市 プラザ菜の花

千葉市支部は、千葉市の政令指定都市の発足を機に支部活動の活性化を目指し、管内の卒業生の実態に合わせ、緑区、若葉区を千葉東支部。中央区を千葉中支部。美浜区、花見川区、稲毛区を千葉市西支部。“ダンゴ3兄弟”として平成5年に発足。役員同士の交流と親睦を深め、竹の子狩りとバーベキュー、グランドゴルフ大会、ロッテマリン応援観戦、サッポロビール工場見学、日帰り研修旅行など数多くの行事を行って来ました。

お蔭様で会員相互の親睦も深まり、今では他支部からの行事参加も増えて来ております。今年も当支部が幹事で、

- 4/12 西支部ゴルフ大会
- 4/24 竹の子狩りとバーベキュー
- 5/17 3支部+外房支部ゴルフ大会
- 5/21 西支部麻雀大会

6/11 グランドゴルフ大会

7月下旬 ロッテ応援ナイター

8/20 サッポロビール工場見学

9/3 稲毛、美浜地区懇親会

9/17 花見川地区懇親会

9/20～21 新潟原子力発電所見学研修

9/24 グランドゴルフ大会

9/28 西支部ゴルフ大会

12/17 忘年会

など盛り沢山の行事を計画しております。

同窓会は親睦団体です。“明るく、元気で長生きしよう”をモットーにこれからも全員で頑張ってください。今後共よろしくご協力、ご鞭撻の程お願い申し上げ支部活動の紹介とさせていただきます。最後に千葉市西支部への加入をお待ちしております。

④京葉支部だより

支部長 川村 義郎 (40M)

- 電話 / 047-451-0247
- 地域 / 船橋、鎌ヶ谷、習志野、八千代
- 定期総会 / 平成23年5月8日(日) 船橋市 フローラ西船

京葉支部は今年、創立15周年を迎えます。時の経過とともに徐々に高齢化が進んでおり、新しいエネルギーとリニューアルが一部必要になってきています。そこで、“あの日に帰りたい”を合言葉に会員のより一層の増員拡大を図ってまいります。

さらに、5月8日(日)支部定期総会の後、15周年記念行事としてプロによりアトラクションをフローラ西船において開催いたします。

自由参加を前提に各種支部活動をしています。工場・施設等の見学会の後は懇親会で親睦を深めています。今年は、①サッポロビール千葉工場見学と“元南極観測船しらせ”の眺望、②横須賀軍港めぐり、③東京スカイツリー工事現場見学を実施しました。毎年2～3回を企画、好評を得ています。

会員相互の懇親を深めるための行事として、ボーリング大会や割烹旅館玉川での納涼会、忘年会は無料の入浴もでき特に好評です。

その他同窓会本部行事・OB参加の母校行事・ボランティアなど自由に参加しております。



横須賀軍港めぐり

⑤市原市支部だより

支部長 大野 繁樹 (36M)

- 電話 / 0436-74-5753
- 地域 / 市原市全域
- 定期総会 / 平成23年5月21日(土) 市原市 サンプラザ市原

構成は、1市1支部で、卒業生は沢山居るのですが、現在会員は115名程度です。定期総会は5月3週頃の日曜日22日に予定したが、会場のサンプラザが役所仕事の最たるもので、4ヶ月前受付で連絡すると市の行事が入り使えないとまったく話にならない。サンプラザは五井駅のすぐ隣で便がよく、利用したい会場です。今回は5月21日(土)になりました。

市原市支部は本部主催のゴルフコンペに、参加者が多く、夫妻での参加も多くあり、上位になる人もいて、団体でも数回優勝するチームです。

グランドゴルフは草刈公民館で5回実施し、総体的に技術レベルが高く、ホールインワン、バーディーも出て楽しくゲームをしています。賞品は花の植木で家でも好評です。

その他の行事は、22年度は養老溪谷、21年度は君津の森で一泊の新年会、親睦会を実施し会員のコミュニケーションを図っています。多忙でなかなか参加できない人もいますが、比較的近くで実施するため、気軽に参加できる楽しみがありま

す。多くの会員に参加を呼びかけ、更に楽しい行事になるよう頑張ります。

支部は平成6年10月2日に再建総会を実施し、平成16年には10周年を記念し記念会報を発行しました。平成26年の20周年記念に向け準備をしていきます。

今後は、支部会員の拡充と若い人が一人でも多く入会して貰えるように活動し、皆様の参加をお待ちしています。



グランドゴルフの賞品は鉢植えの花

⑥北総支部だより

支部長 早尾 茂 (26E)

- 電話/043-422-8825
- 地域/成田・栄、佐倉、四街道、八街、印西、香取
- 定期総会/平成23年6月4日(土) 成田市 メルキュールホテル成田

北総支部は、平成3年3月17日に誕生して以来丸20年を迎えている。支部の地域は、県北部の印旛郡市と香取郡市の広い支部であるため、七つの地区を設け運営している。

地区名及び地区長等は次のとおり。

成田・栄地区 竹内 康(35E)・佐倉地区 三須 英男(33M)・四街道地区 新井 昇(37E)・八街地区 金子 衛(38M)・酒々井・富里地区 小倉 喜光(30M)・印西地区 岩井 猛和(41E)・香取地区 菅沢 正生(36E)

各地区は、毎年1回地区長招集により懇談会を開催し、近況報告等により親睦を深めている。

支部役員は支部長以下15名で、うち副支部長3名、事務局長・会計各1名、常任幹事7名、会計監査2名があり、事務を分担している。委員会は三つあり、総務、会報、レクリエーションを役員が分担し、活動している。

支部活動のモットーは、「楽しく、明るく、元気良く」を合言葉に「気軽に話し合える良い仲間たち」です。

支部全体としては、愛好者による年2回のゴルフコンペ。レク行事は年2回、22年度は屋形船による江戸川遊覧と寄席見学をしている。また、昨年から試行した新春散歩会は、今年は成田市内を散策した。これらの活動状況は、会報「ほくそう」に収録し、年2回発行している。

会員数は、一般会員135名と名誉会員10名(旧新中学卒業)の145名であり、いつでも入会者を歓迎している。定期総会は毎年6月に地区持ち回りにより開催しており、今年は「成田・栄地区」が担当する。

お問合せは支部長 早尾 茂 まで、気軽に電話ください。

⑦東葛支部だより

支部長 吉田 勝彦 (32E)

- 電話/04-7191-0232
- 地域/市川、浦安、松戸、柏、我孫子、野田、県外
- 定期総会/平成23年6月12日(日) 我孫子市 鈴木屋本店



平成21年6月。関係者各位の祝福のもと設立10周年記念祝賀会を開催してから、約2年経過。12年生となりました。

更なる飛躍を目指して、支部目標としたのは全員が支部長の気持で、全員が幹事、一般会員の気持で支部の運営に携わるべきではないか、言葉を換えれば、お互いの立場を理解し合って良い人間関係を構築し、絆を深める事こそ支部の発展に繋がる。

こんな発想から、年間を通じ幹事会を奇数月第三土曜日に開催する事に決定。(正月は全会員の新年会)その結果、幹事全員が年間予定に組み込む事が出来、出席率も向上。終了後近くの居酒屋での二次幹事会も笑いの中から良い意見・発想を話し合う事が出来『和気藹藹』のうちに即決定→実行に移す事が出来る様になっております。

又、私の他団体での経験から(特例は除き)冠婚葬祭については、個人対応とする事を幹事の賛同を得て実行しております。これによって「私の時は東葛支部は何もしてくれなかった」「あの人の時は・・・」こんなトラブルは皆無です。一見冷たい様ですが、金銭的トラブルが会の運営に支障をきたす要素でないかと考え、今後も実行して行きたいと思っております。

今後の問題としては御多分に漏れず会員増が進まぬ事。支部として多くのイベントが開催できぬ事ですが、本部・他支部のイベントにも出来るだけ参加させて頂き、同窓会会員相互の親睦の輪を広げて行く所存です。

末筆ながら、母校及び同窓会ならびに(財)千工会の益々の発展を願い、東葛支部としても微力ながら、お役に立てる様協力をさせて頂く事を誓いまして支部だよりとさせていただきます。

⑧千葉市東支部だより

支部長 吉田 稔 (33M)

●電話/043-291-6690

●地域/若葉区、緑区

●定期総会/平成23年6月19日(日) 千葉市 プラザ菜の花

千葉市東支部は基本的には兄弟支部である「千葉市中支部」と「千葉市西支部」と共同歩調を取りながら活動を続けておりますが、平成22年度の活動状況を報告いたします。

1. 組織について

当支部の現状は昭和37年以前の卒業生が主力メンバーであり、今後の活動を活性化させるためには、若い世代に入会してもらうことが必須です。とは言え62歳～63歳が会社人間としての1つの区切りと判断すると、60歳以前で同窓会活動に加わるのは厳しいとおもわれます。

そこで当支部では、昭和42年以前卒業の同窓生を対象に入会活動を実施しました。その結果4名の入会者があり、ひとつの成果がありました。

2. レク活動について

「レク活動」は「会報発行」と並び会員相互の親睦を深める重要な機会であり、主に3支部共催で実施しています。平成22年度も、本部主催、支部独自行事も含めて、17の行事を案内しましたが、参加者は延べ約170名と、かなり高い参加率となりました。

3. トピックス

明るい話題ですが・平成22年秋に実施された本部主催の「第12回ゴルフコンペ」で当支部から6名で参加しましたが個人優勝と団体優勝という輝かしい結果を収めることが出来ました。第一の貢献者は今年入会した、個人優勝のH氏(42M)です。団体優勝はT氏(33E)とS顧問(30E)の活躍が光りました。若い人とベテランの頑張りで、達成したものであり、今後の支部活動にも勢いをつけてもらえそうです。



第12回千工会本部ゴルフ大会(千葉東支部)

⑨千葉市中支部だより

支部長 岡本 保彦 (33C)

●電話/043-232-8903

●地域/中央区全域

●定期総会/平成23年7月10日(日) 千葉市 プラザ菜の花



千葉市中支部は今年で創立18年目を迎えます、平成23年1月現在の登録会員数は72名です。岡本保彦支部長(33C)を中心に各種活動を行っており、行事等については千葉市西支部、千葉市東支部との共催(一部外房支部含む)が主

で、持ち回りによるその年度の幹事支部が行事の運営をして居ります。年度の行事が終了する年末に3支部幹事会を開き次年度の行事計画を立てます。新年早々には会員への報告と参加希望の収集をして、行事催行を円滑に進める為の資料とします。平成23年度行事予定は次の通りです。

- (1) 4/24(土) たけのこ狩りとバーベキューの集い
- (2) 5/17(火) 第16回4支部共催チャリティーゴルフ大会
- (3) 5/21(土) 第16回西支部主催麻雀大会
- (4) 6/11(土) 第14回グランドゴルフ大会
- (5) 7/10(日) 千葉市中支部定期総会

- (6) 7月下旬 ロッテ応援ナイター観戦
- (7) 8/20(土) 暑気払い「札幌ビール工場見学とバーベキュー」
- (8) 9/21(火)～22(水) 新潟原子力発電所一泊研修旅行
- (9) 9/24(土) 第15回グランドゴルフ大会

どの行事も和気あいあい、大変楽しく行われております。中でもチャリティーゴルフ大会、麻雀大会は他支部からも多くの参加者を迎えて開催され、秋に行われる本部主催の同大会と規模も参加者の顔ぶれもほとんど変わりなく、支部開催を春の大会、本部開催を秋の大会と位置づけている人が多いようです。

また、ロッテ応援ナイター観戦、札幌ビール工場見学とバーベキューの集いも千葉市3支部の会員は勿論、他支部の人たちも毎年楽しみにされているようです。

各行事を通じて支部会員と他支部会員の交流が活発であること、これが、千葉市中支部および千葉市3支部の合言葉“楽しく元気で長生きしよう”を推進させております。

写真・文作成 小安 秀次 (38M)

千葉工業歴代の校長について

第14代校長 永峯 清秀

本校は昭和11年4月、千葉市立千葉工業学校(応用科学1学科)として創立しました。それに先立ち昭和10年、千葉市議会に「工業学校設立委員会」を設け、数次にわたる会合を重ねるとともに茨城県を視察している。

昭和11年2月8日市議会が開かれ、設立委員会会長の市長から工業学校設立の提案があった。その「市議会議事録」の中に、当時市会議員であった私の母の叔父「一瀬房之助(第7代市議会議長)」の次の質問が載っている。「29番 一瀬房之助君、只今応用化学ノミガ科目トスルト伺ツタガ将来電気機械等ノ科目ヲ置ク御意志アリヤ否ヤ」「市長 永井準一郎君、当面、応用化学デ進ミタイト思ヒマス」。そして、2月10日、本件は可決された。設立に当たって、私の大叔父が関わっていた事は、本校との因縁浅

からん事を痛感しています。

私は昭和43年4月定時制電気科の教員として着任以来、定時制教諭4年、全日制教諭12年、教頭3年、校長3年計22年間お世話になりました。その間8人の校長先生に仕えました。現天野校長は19代目です。従いまして、19人のうち、初代から3代までの方を除く16人の校長先生とは全てご面識がございます。

さて、私の先輩の13名の校長先生方の偉大さ、ご功績、お人柄について、知っている限りのことを記したいと存じます。間違いや不明な点があるかと思いますが、ご叱責、ご提言が頂ければ幸甚です。



初代校長 井口 卯吉 (昭和11年4月～13年9月)



千葉中学(現千葉高校)の化学の教諭から、初代校長として着任、無からの学校創設に尽力され、温厚な人柄で職員、生徒からの信頼は大きなものがあつた。しかし、翌々年の昭和13年5月、化学の実験中、アルコールに引火し火災となり、校舎焼失、不幸なことに担当教員の小泉先生が殉職する。小泉先

生は小泉製紙の御曹司で井口校長の千葉中での教え子でありました。校長にとって教え子の死は痛恨の極みであり、心を痛められ体調を崩しお亡くなりになりました。

その後、両遺族の方によって、井口校長のお屋敷を、学校に寄付なされ、「井泉寮」として、生徒の精神修養の場や職員の宿舎として長く活用させていただきました。平成20年リフォームした千工会館は元をただせば井泉寮の名残であります。

2代校長 北村 丘 (昭和13年9月～28年3月) 明治25年3月生まれ、三重県出身



三重県立工業学校卒、官立米沢高等工業学校(現山形大工学部)大正4年3月卒
福島県立会津工業学校校長事務取扱用より、本校校長として着任。県立移管に尽力、機械科、

電気科を設置、検見川台に新校舎建設、実質的には本校の創設者ともいえる。戦前、戦中、戦後の足かけ15年間、戦災により工業学校としては日本一の威容を誇った検見川校舎の焼失、津田沼校舎への移転、戦後の教育の改革等疾風怒濤の活躍は眼を見張るものがあり、本校の礎となる校長であります。

3代校長 舟橋 義一 (昭和28年4月～32年12月) 明治33年4月生まれ 茨城県出身



茨城県立太田中学卒 官立米沢高等工業学校機械科(現山形大)大正11年3月卒
昭和15年から本校機械科教諭、19年銚子工業商業学校校長、23年銚子商業高校校長、25年野田

実業高校(現清水高校)校長を歴任。本校の機械科の科長として、安藤前同窓会長は薫陶を受けたそうです。校長在任中は生徒の学力向上に努め、全国屈指の成績を遺した。ちなみに、清水高校と千葉工両校の校長を経験した校長は舟橋先生、後述する西澤先生と私(永峯)の3名であります。

4代校長 伊藤 武三郎 (昭和32年12月～35年3月) 明治40年1月生まれ 千葉県出身



千葉県立成東中学卒 官立東京高等工業学校機械科(現東京工大)昭和4年3月卒

伊藤校長は京葉工業高校の創設校長であります。私が京葉工業の校長に着任した折、初代校長宅に挨拶に参じることが慣わしでありまして、初めてお会いすることができました。90歳を過ぎていらっしゃるいましたが、矍鑠として居られました。その折、千葉工業の校長

になった経緯を次のように話していました。昭和32年の秋、前舟橋校長が「俺は年度途中であるけど辞めるから、次の校長は教頭のお前にしたから確りやってくれ。」流石の伊藤校長も驚いたそうです。昔の人事は校長の権限が強かったようです。

京葉工業には千葉工業にない良い校風がありました、例えば、創立当時から、生徒による朝夕の国旗の掲揚、教育目標の確立と確実な実施等伊藤校長の思いが脈々と引き継がれていました。

5代校長 景山 徳二 (昭和35年4月から～44年3月) 明治41年4月生まれ 千葉県出身



早稲田中学卒 東京物理学校数学科(現東京理科大学)昭和6年3月卒

昭和14年本校数学教諭、24年教頭、24年12月市川工業高校校長

私は昭和43年、景山校長に採用されました。初対面の時、大きな体と豪快さに圧倒されました。先生は戦後の全国の工業高校の校長会の草分けで、長く顧問をされていました。平成11年5月、全国工業高等学校長協会創立80周年記念式典が文部大臣等のご臨席のもと挙行された折、景山校長(当時90歳)は協会の顧問として出席され

ました。紋付・袴で貫録充分なお姿でした。式典中頃、何を思ったのか、先生は「俺にも話をさせろ」と言って壇上に上がって、全国から集まった工業高校の校長数百人に対して、「今の校長連中は、迫がないもっと元気を出せ！」と激を飛ばしました。主催者側はこのハプニングに驚き右往左往、私が何とか景山校長を壇上から下ろす事ができました。その後、協会の理事会等で全国の理事から千葉には水戸黄門みたいな大物がいる。さぞかし、千葉工業の校長もやり難いだろうと同情されました。いずれにしても、景山校長は生実に当時としては東洋一の新校舎を建てた、本校にとっては中興の祖と言えるのではないのでしょうか。

6代校長 澤田 繁二 (昭和44年4月～46年3月) 明治45年2月生まれ 鹿児島県出身



旧制第7高校卒 東京帝国大学文学部(現東京大学)昭和10年3月卒

昭和40年千葉県教育次長、42年千葉東高校長、46年千葉高校長

私の高校時代の恩師で国語を教わりました。指導が大変厳しく毎時間必ず指

名され、お陰で不得意な国語が良く理解できるようになりました。また先生は、本校の校歌の作詞者です。県下の数十校の校歌も作詞されています。

校長室に「日々新又新」の額があるが、これは第63・64代文部大臣森戸辰男の書である。澤田校長は森戸辰男氏と面識があり、昭和45年、森戸氏が本校に視えられ、その折揮毫されたものです。一年を残して、千葉高校に転任されました。

7代校長 西澤 正 (昭和46年4月～49年3月) 大正4年3月生まれ 長野県出身



長野中学卒 東京高等師範学校体育科(現筑波大学)昭和16年3月卒

西澤校長は33歳の若さで県教育庁の体育課長となられ、36歳で長生二高(現茂原高校)の校長となられた。超エリートであ

ります。教育庁の学務課長(県下全教員の人事権、懲戒権等の権限を持つ重要なポスト)から本校の高校に着任、部下の面倒が大変良い先生でした。澤田校長同様、一年を残して千葉女子高校へ転任、千葉女子高校の校長で高野連の会長を務めたことは前代未聞です。

8代校長 **大森 嵩** (昭和49年4月～52年3月) 大正5年8月生まれ 千葉県出身



安房中学卒 東京高等師範学校理科(現筑波大)昭和15年3月卒
昭和38年京葉工業教頭、40年茂原工業校長、44年京葉工業校長
物理の教員で自作の教材を

用いて実験を展開し、工業教育に強い関心を持っていたためか、工業高校の管理職を長く務められました。お酒の好きな温厚な人柄で、お正月等ご自宅に多くの職員を招かれ大宴会を開られました。高野連の会長として財団法人設立に尽力されました。

9代校長 **秋山 利雄** (昭和52年4月～57年3月) 大正10年5月生まれ 千葉県出身



千葉中学卒、国立横浜高等工業学校電気化学科(現横浜国大)昭和17年9月卒
昭和36年市川工業教頭、44年茂原工業校長、47年国府台高校長、49年京葉工校長39歳の若さで市川工業教頭となり、20年以上工業高校の管理職として工業教育をリードしていました。当時、新

設高校の増設期で普通科志向が高まり、職業高校が地盤沈下を起こしていた時期でしたが、秋山校長は「もの作り」の重要性工業教育の大切さを職員・生徒に説いておられました。大森校長と正反対でお酒が大嫌いな先生で、酒好きな私はよく叱られました。高校の大先輩であったせいか、教頭候補試験に推薦していただきました。しかし、不合格になってしまい、また叱られました。本当にお世話になりました。

10代校長 **段木 正視** (昭和57年4月～63年3月) 昭和2年10月生まれ 千葉県出身



千葉工業学校卒、国立米沢工業専門学校(現山形大工学部)昭和23年3月卒
昭和46年県教委学務課、高校教育課長補佐、53年国府台高校長
前任の学校は組合管理の校長不在に等しい高校でありまし

た。先生はそれを是正するため、県教委の管理・人事の中枢から単身派遣されました。組合の抵抗は激しく、連日、高教組新聞に「段木バッシング」の記事が踊りました。強い胆力と正義感で改革は進みました。

昭和57年4月1日、初の母校出身の校長が誕生しました。私は前任校の経緯から、「秋霜烈日」の厳しい校長という先入観を持っていました。しかし、玄関でお迎えの職員整列の中を笑顔で通る姿を視まして、「春

風騎蕩」の穏やかな優しいお人柄という印象を強く受けました。特に、若い先生方の意見を取り入れた学校運営をなされました。県教委との太いパイプをお持ちであったため、情報技術科のコンピューター式(4千万円)の更新、県下全ての機械科へNC工作機械(数億円)の導入、県下初の図書館へのエアコン設置、電子機械科への学科転換等本校のみならず、全県下の工業教育の推進・発展に尽力されました。

一週間の創立50周年記念行事、記念事業は中庭等の整備、PTA、同窓会、千工会との連携強化、職員・生徒のモチベーションの向上等、沈滞気味の本校を根本からの活性化に努められました。

個人的なことを申しますと、教頭試験に合格させていただき、清水高校の教頭に送り出していた。大恩ある校長です。

11代校長 **安藤 隆義** (昭和63年4月～平成3年3月) 昭和6年3月生まれ 千葉県出身



市原第一高校卒、千葉大学数学科昭和29年3月卒
昭和42年県教委社会教育課、55年社会教育課長、60年若松高校長

長年社会教育に携わり、社会教育のエキスパートであります。段木先生同様県教委とのパイプが太く、進路

指導室の整備、LL教室の設置、浄化槽、教室棟の大規模改修等教育環境の整備に努められました。教育委庁の行政的手法を導入した学校経営をなさっていました。例えば全職員とのヒアリング、トップダウンの決裁等であります。

先生は「セッカチ」な性分で良く「3秒、3分、30分」と言われていました。これは、質問されたら3秒以内で答える事、通知文などの書類を捜せと言

ったら3分以内に捜し出す事、文書の作成は30以内との「無理難題」です。教頭として2年間仕えましたが大変鍛えられました。

ご自宅が近かったため、良く居酒屋でご馳走になりました。お酒が大変強く、一人で焼酎のボト

ル一本空けないと帰してくれませんでした。ここでもまた鍛えられました。校長試験の推薦を頂き校長への道を開いていただいた校長であります。感謝申し上げます。

12代校長 鈴木 和美 (平成3年4月～平成6年3月) 昭和8年11月生まれ 千葉県出身



成東高校卒、明治大学工学部機械工学科、昭和31年3月卒、昭和55年社会教育課長補佐

56年銚子西高校教頭、58年9月京葉工教頭、60年市川工校長、平成元年京葉工校長

先生は昭和38年東総工業の創立に携わられ、同校の応援歌の作詞者であります。京葉の教頭時代一年間ご指導を頂き、市川の校長のとき私は葛南工業の教頭でまたご指導いただきました。先般、叙勲の祝賀会でカリスマ校長の話をしました。先生はカリスマの三要素「品性」「哀愁」「不可解さ」を兼ね備えています。特に、「不可解さ」は際立っています。

一例を申しますと、校長試験の合格の通知は夕刻、所属校長宛に電話連絡できます。ある夜、他校の仲間の教頭から電話があり「俺は受かったが、

永峯さんはどうだ」と、私は校長から何の連絡も無いので不合格とあきらめました。翌朝、校長と打合せをしても、何も言いません。確実に落ちた事を確信しました。ところが、9時半ころ「校長室にすぐ来い」と電話があり行くと「今、教育庁から合格の通知があった、おめでとう」とのことであった。私の合格の通知は、昨日あったが校長は出張で不在、県教委は校長の自宅に電話しましたが自宅にもいません、行方不明です。このような重要な通知があるのに行方不明とは、危うく不合格になるところでした、本当に「不可解」な校長です。何はともあれ、私は鈴木校長のお陰で校長試験に合格できました。

退職後、千葉県高等学校PTA連合会の初代事務局長を務められ高P運の発展に尽力されました。その後、自宅で「晴耕雨読」でなく、「晴耕雨寝」の「悠々自適」の生活を送られています。今年の秋も「収穫祭」伺います。

13代校長 渡邊 貞雄 (平成6年4月～平成10年3月) 昭和12年5月生まれ 山梨県出身



山梨県立峡北高校卒、千葉大学工学部電気工学科、昭和36年3月卒

昭和56年県教委指導課、62年指導課長補佐、平成元年市川工業高校長

先生とは本校で同僚として十数年間、ご指導されたり、ご指導したりの刎頸の仲であります。大学の先輩であり、博識の先生です、特に固体電子論では右に出る人はいません。

また、酒脱でユーモアある人で、ふざけて、私に戒名「酒乱院巨魔羅居士」をくださいました。

若いときから教育相談に取り組み、その関係の著書を3冊出しました。先生の教育相談の講演会の渡邊節は保護者の皆さんから大変好評でした。

教頭試験を一発でクリアーし、県教委の指導課8年勤務、工業の名指導主事として今でも工業教員に尊敬されています。

本校の校長時代は創立60周年記念行事を成し遂げられました。

13人の先輩校長の事、お断りも無く書かせていただきました。無礼な事も書いて在るかと思存しますが、不肖な後輩に免じてご容赦下さい。

私(14代)以下の校長については、いずれ後輩の方がお書きになる事を期待しています。

編集委員長

この原稿は、東葛支部会報 第18号、第19号に掲載され、「私たちの校長先生のプロフィール」に懐かしさを思いました。永峯元校長先生、東葛支部吉田支部長のご了承を得て掲載させて頂きました。永峯元校長先生、吉田支部長には厚く御礼いたします。

「千葉竹とんぼ倶楽部」創立十周年

千葉竹とんぼ倶楽部 代表 湯浅 稔 (38M)



懐かしい伝承遊び「竹とんぼ」。ナイフを使った手作り遊びの楽しさと、高く・遠く飛翔した時の喜びを子供達に体験させたい！との思いから母校の同窓生と千葉竹とんぼ倶楽部を発足させて代表となり、「スーパー竹とんぼ作り」の指導活動

を始めて10年が経ちました。

平成22年9月12日(日)千葉市中央区の「ホテルプラザ菜の花」にて千葉工業同窓会本部より会長代理の佐川副会長、深山副会長、若月副会長、宮崎副会長、各支部より岡本千葉市中支部長・吉田千葉市東支部長、石井千葉市西支部長、早尾北総支部長ならびに(財)千工会より海保副理事長、NTT関東電友会千葉支部より福島支部長、佐野支部長のご出席を賜わり、「千葉竹とんぼ倶楽部創立十周年を祝う会」を盛会裡に開催することができまして、厚く御礼を申し上げます。式典では古川仁司会員、高橋博会員のご尽力に感謝状が贈呈され、会場には活動写真や新聞各紙のパネルボードと会員製作の創作竹とんぼが展示されて、ご出席の皆様方に10年の歩みをご覧頂きました。



顧みますと、平成8年に東京都世田谷区羽根木公園で子供達に昔遊びを教えて楽しんでいる「羽根木プレーパーク竹とんぼクラブ」が掲載された読売新聞を見て入会し、スーパー竹とんぼ作りの指導活動と創作竹とんぼの製作を始めました。

平成12年の千葉工業同窓会会場で京葉支部の遠藤先輩、近藤先輩にナイフを使った「スーパー

竹とんぼ」の作り方を指導したことが契機となり、12年9月に千葉工業高校の先輩、後輩の10名で「千葉竹とんぼ倶楽部」を発足させて、現在は同窓生会員8名、一般会員3名で活動しております。

私達が指導する「スーパー竹とんぼ」は9cmの小形ですが、翼の角度があり昔の竹とんぼに比べるとはるかに高く、遠くに飛びます。発足当初は京葉支部エリアの船橋市、習志野市と地元の千葉市を中心に活動をスタート。13年の千葉工業同窓祭会場で「第1回竹とんぼ作り教室」が開催され、多くの同窓生がナイフを使った竹とんぼ作りと飛翔を楽しまれました。

その模様が地元紙の「千葉日報」に掲載され、以後、「千葉工業同窓祭」の恒例イベントとなり、今年で11回目になります。14年には船橋市立夏見台小学校での「竹とんぼ教室」と「倶楽部の活動模様」を千葉テレビの千葉県教育庁教育番組「教育ホットライン」で放映。千葉竹とんぼ倶楽部が県内にPRされました。

又、私が製作したスーパー竹とんぼの製作工程や、象嵌・漆塗り金箔・友禅千代紙を貼った観賞用竹とんぼ、バランスとんぼや競技大会入賞機等を展示した「創作竹とんぼ個展」を5回ほど開催し、その模様が新聞各紙や地域情報誌等に掲載されたことから指導依頼が多くなり、県内一巡の千葉県生涯学習フェスティバルや、ちば市国際ふれあいフェスティバル、公共機関や各種団体、地域のイベントや小学校、公民館の他、千葉工業同窓会の先輩方からの依頼も多数寄せられて、県内での活動が広がって参りました。



千葉市社会福祉協議会 花園部会「竹・紙とんぼを作って親子で飛ばそう」千葉市立花園小学校

これまでの10年間に「スーパー竹とんぼ教室」を190回開催。竹とんぼ作りを8,300名、紙とんぼ作りを6,800名が体験し、親子や友達とのコミニ

ュケーションを深める場になっております。

私達が子供の頃には小刀の「肥後守」を器用に使って、物作りや手作り遊びを体験していましたが、今は室内でのゲーム遊び等に興じる子供たちが多くなり、「ナイフは危ない」と親が子供達に使う機会を与えなくなっていることに大変危惧しております。

一昨年にはNTTのOB会「関東電友会本部」よりボランティア活動に対して助成を頂き、昨年5月にはこれまでの活動に対して桑原会長より小生が「第1回ボランティア活動賞を受賞いたしました。

これも偏に千葉工業同窓会ならびに関東電友会千葉支部のご支援、当倶楽部会員各位のご協力の賜と感謝申し上げます。これからも伝承遊び「スーパ

ー竹とんぼ作り」の指導活動を進めて参りたいと思いますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

恒例「スーパー竹とんぼ教室」案内

主催 千葉竹とんぼ倶楽部
(千葉工業同窓会)

日時 平成23年4月17日(日)9時～11時

場所 県立千葉工業高校 食堂

参加費は無料です

(材料、道具は倶楽部で準備)

今年も、いつものように同窓祭の前に「スーパー竹とんぼの作り方教室」を行います。ご家族を含め大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

愛・時・命の3部作 <浮展を見て>

早尾 茂 (26E)

2010年10月26日～11月7日まで、いすみ市水彩ギャラリーで第9回浮展(B u i T e n)が開催された。

渡辺武雄氏(30M)を始め、23名の方々が出品されていた。渡辺氏から同窓会本部、各支部役員に案内状が配られ、小生も始めて参加した。

11月3日(文化の日)に、仲間四人と共にいすみ市まで見学に出かけ、大いに感銘を受けたので投稿した。

天候も快晴で、まさに“文化の日”の有意義な一日であった。絵画は、愛・時・命のテーマで50号の三点セットであった。満74歳での製作で

ある。渡辺氏は千葉工業時代は美術部部員として活躍されており、面目躍如とした作品でした。



作品を前にして、湯浅、早尾、古川、海保、渡辺(作者)各氏

愛の賛歌



輪廻転生
生物は、卵や種から生まれ、育ち、成人として生きる。そして愛をえて成熟する。やがて、終焉を迎え、天に飛び立って昇天する。

無限の時の流れ



ビッグバンから現代へー
素粒子、原子、分子、生物・人類そして原爆へ。
広島原爆ドームと長崎の浦上天主堂アンゼラスの鐘の音が聞こえてくるようだ。

命の無限



南の島、ラバウルで戦死した命。南の島から流れる新しい命。椰子の実は黒潮に乗って南房総の砂浜に着いた。

クラス会だより

28E 喜寿記念クラス会の様子

金子 健 (28E)



サンライズ九十九里で

私達の、喜寿記念クラス会は平成22年5月参加者17名により盛大且つ和やかに行うことが出来た。5月14日母校津田沼校の跡地に集合、記念碑の前で校歌を斉唱・当時の思い出に浸り、会食後JR・バスを乗り継いでサンライズ九十九里を目指した。サンライズ九十九里では、2年前にMS君が逝去されていた報告を受け既に亡き早川先生と級友9氏に黙祷を捧げ宴会に入った。

近況報告や懐かしい昔話や現役時代の苦労話などで盛り上がった。その中で、健康維持に関する話題が多く年齢を感じたが、元気で個性的な諸兄は相変わらず益々意気軒昂に活躍している様子に喜寿を迎えた人々の集いとは思えない宴席となった。

- フィットネスクラブで太極拳・フラ・エアロビスク・ヨガ・水泳をやり無理のない登山と内外マラソン、更にカナディアン・ロッキーのトレッキングを計画中のMI君。
 - 在校生諸君に一流のエンジニアを目指し決してあきらめるとアドバイスしたSO君、週3日の大学講師を勤めスキー指導員検定に挑み見事合格「認定指導員」資格取得。
 - 母校におけるTV受信機の研究で活躍、NEC退職後は大学で講師を勤め、現在血行障害により右足が不自由・歩行困難の為、ケアしながら参加されたRS君。
 - ゴルフのハンディ1、パソコンを自作するどちらもプロ級腕前のKM君。
 - 千葉県のスポーツ指導者教育と普及に貢献、千葉国体の推進役を勤めたMM君とSK君。
 - 巾広くエコに活躍するKI君、多趣味で豊かに暮らすYK君とKK君。
 - 地域活動に奉仕するHI君とHS君。
- 等々で話は尽きず一晩は、アツと言う間に過ぎ、翌15日次回の開催は特に時期を決めずに幹事はMM君とSK君のお二人にお願いして散会となった。

34M 同期会

東葛支部 土屋 孝夫 (34M)



(写真は同期の川島肇氏の撮影)

「あれから何年たつのだろうか」歌の文句ではないけれど、前回2007年11月木更津で同期会が行なわれ、今回は古希を迎える2010年、それまで皆元気で頑張ろうと別れたことを思い出した。

月日の経過は早いものでその年がやって来た。幹事長のO氏が忘れずに、6月10日(木)一泊で銚子犬吠崎の京成ホテルで開催の案内が届いた。

銚子は漁港として全国的にも有名だが、いざ行くととなると交通は不便、特にJRはその昔、小生が千葉工へと通学に利用していた総武本線、さすが蒸気機関車は走っていないが、日中の列車本数は1時間に1本と50数年前と変わっていない。また、犬吠崎を訪れるのも中学時代の遠足以来となる。

会場の京成ホテルへは列車、東京からの直通バス、自家用車で32名の参加者が無事に到着した。小生は同窓会の各種イベントや仲間同士でのメール交換で、顔なじみの友が多くなったが、中には卒業後始めて参加してきた仲間がいて、風貌がかわっているためもあり、名簿とのつきあわせでも思い出せず、50数年経過した年月を改めて強く感じた。

各自の部屋に入ると誰が用意したのか早速小宴会が始まり、がやがやわいわいと楽しい会話が始まった。雑談を聞いていると、五体満足な人は誰もいない。どうした、こうしたと欠陥者ばかりなり、

それなりの年齢を迎えた証明である。でもこうして元気に集まることが嬉しいことだ。18時半から宴会場に席を移し、宴は本格的に始まった。参加者のT氏古希を迎えた時を区切りとして、経営していた会社を息子さんに引き継ぎ、多大な寄付金を提供していただき、心置きなく飲むアルコールは一段と美味かった。

翌朝ホテル屋上から見た広大な太平洋、雲が多く期待はずれの日の出であったが、はるか先の水平線を眺めていると、地球は正に丸いということが実感できる眺望に感激した。

朝食後、観光組と帰る組に別れ解散直前に、地元出身で現在は東京で会社経営のC氏から、立派なケース入り干物のお土産をいただいた。何時手配されたのか、あまりにも突然な豪華プレゼントに皆も驚き感謝の気持ちいっぱい「ありがとう」の声がわきあがった。そんな歓喜の中、「また会う日まで、会えるときまで」を約束して解散となった。

数年前には古希という言葉は気軽に言えたものだが、実際その年を迎えた現在古希という言葉に抵抗を覚えるのは小生だけであろうか。

36M-B 3年連続クラス会

市原市支部 大野 繁樹 (36M)



本部主催のゴルフに36Mの1組を組んでもらった事で、久しぶりの再開となり、もう一度仲間ゴルフをやりたいという事になり、大川さんのホームコース新千葉CCでゴルフをやる事になった。ここでゴルフをやった事になった。

久しぶりのクラスの仲間とも卒業以来会っていない人が殆んどであり、クラス会をやる事になり、同窓会のクラス幹事としては大野がなっているが、今回の発起人として村井さんが中心になり声かけをした処、16人の参加者が集まる事になった。実際は連絡の不手際、ケガのトラブルがあり

14人となった。

会場は34Mの先輩山本芳広氏が経営している千葉駅近くのお好み焼き喫茶「花かご」と言うことになった。12月21日(火)15時から参加者は千葉近辺の人が多く、東京近辺、銚子、館山の近くとそれぞれで約50年振りの顔合わせである。36年の卒業で1回も会っていない人が多く、顔の判らない人も居た。卒業後何をしてたのか、今何をしているのか、体調の悪い人も居る。元気にマイペースで活動している人も居るが、千葉工業高校の同窓会役員をした人、している人は極く少ない。和田さん、春田さん、大川さん、佐久間さん、大野の5名位だ。母校へは行った事もない人が殆んどだ。

4月17日(日)に実施される同窓祭に来て下さい。そしてクラス会も出来るでしょうと言ったのですが、何人来られるやら。久しぶりの顔合わせで楽しい一時を過ごし、和やかな交流会だったが、名残りおいしい雰囲気ではあったが、又近いうちにクラス会が実施される事を祈り、お開きとした。また会いましょう！

37M-B 3年連続クラス会

外房支部 松崎 文男 (37M)



11月27日(土)京葉銀行文化プラザで、37年

機械科B組卒のクラス会が行われた。第2回以降11月の最終土曜日に、3年連続となった。

1年前の続きのような雰囲気、四街道グループ幹事により進行され、集った24名全員がハイテンションにさせられた。状況報告では、皆さん、それぞれの分野で社会的に活躍された後の充実した毎日の報告と健康を害したが復調し、元気・元気との報告が印象的だった。また、健康維持の秘訣は「禁煙、クラス会に出席」することが

一番との事！（さすがB組クラス会）

中弛みになりやすい時間帯も報告者が雰囲気を読んで魅了する話術と内容を提供し、最後まで盛り上がった。幹事の計らいでクラス会行事開催アンケート用紙が配られた。集約結果は後日の12月に確定内容の案内があり、23年3月13～14日

の横浜・鎌倉方面の散策一泊旅行となった。

年末クラス会同様の集いとおもわれ、次回の幹事は千葉グループが担当し、お開き後も散会を惜しみ遠方からの1名を除き2次会となった。幹事さんありがとうございました。

39M 卒業45年、クラス会開催

大塚 英明 (39M)



昭和39年度機械科3年C組(高橋久治郎学級)卒業45年のクラス会を去る8月29日に千葉市内で開催した。

30数年ぶりのクラス会とあって住所確認等手間取りましたが当日、県内はもとより静岡県等か

らも26名のクラスメートが参集した。また1学年のクラス担任であった勝田茂先生(元筑波大教授)にも参加していただいた。

紅顔可憐なかつての美少年も還暦を過ぎ、皺も増え、白髪や薄くなったりと容姿は変われど違えばあの日の機3Cの仲間そのままに大いに飲み、語らい、校歌、応援歌をだみ声で高らかに歌い、二次会、三次会と時の経つのも忘れ、延々9時間も亘るクラス会となった。最後に全員が健康に留意して2年後の再会を約束して別れた。

後日談：酩酊状態でどうやって家に辿り着いたか分からない者1名(仲間が送った)、また転んで軽傷を負った者1名等も、皆さん大満足のクラス会だった。

「千工サッカー部OB会」を設立

22年2月に山本 敏雄氏(27C)を発起人代表とし、幹事8名でOB会を立ち上げました。

卒業名簿を参考に110名の会員名簿を作成し、設立案内ハガキを送付、恒例の同窓祭に参加要請しました。20名のサッカーOBが参加、今後の方針を話し合い、9月17日には懇親会を開催致しました。

現在充実した名簿作成中ですのでサッカーOBの方はご連絡ください。

代表 山本 敏雄(27C)

幹事 山本 顕芳(31C) 佐川 一(32C)

斉木 信造(33C) 清宮 照司(36E)

山本 忠雄(37C) 鈴木 麟太郎(39E)

宮内 弘武(39M) 植竹 義仁(44C)



事務局 電話 043-214-4511 佐川 一 迄
4/17(日)の同窓祭に参加し親睦を深めましょう。

卒業後の半世紀を振り返れば

—変化の時を経て これからも 35E生—

学窓を飛び出したのは丁度50年前だった。世の中は岩戸景気と60年安保闘争の真っ只中である。ノンボリの多い千葉工生だが、皆何らかの関心を持ち、それなりの影響も受けた。社会と大人の世界への出発点だった。変化の時代を生きてきた今、感慨も覚える。この十数年、毎月定例で稲毛の居酒屋に集まる10余人が振り返ってみた。

就職はすれど悩みも多く

時代背景に「科学振興・工業立国」が謳われてたから工高卒者は“銀の卵”くらいの価値があった▼だが昔の徒弟制度の名残をとどめたような職場もあった▼仕事を覚えると現実も見えて来る。厳しい労働実態、遣り甲斐のない仕事、区別や差別、人間関係の難しさ▼二十の頃、上司に怒られた年長者が「すみじきは宮仕え」と言うのを聞き、サラリーマン社会の大変さを予感した。

そんな時の選択肢は ①**転職** 期待外れの会社、やりたい仕事が出来ない。やむなく再就職か自営に▼メーカーで洗濯くずとり器の特許取得したA君。女工の労災認定を支援し、人事課に睨まれ退社。以後20年間町工場で働く。「正しい事をしたから後悔はしていない」と語る。 ②**大学に進む**(後述) ③**労働組合運動** 働きやすい職場を目指して活動。だが会社側の差別攻撃で辞めたB君。「それならと会社を始め、収益も上げ20年間社長を務めた」 ④**現状肯定** 我慢しその中で最善を尽す多数派▼期待されC君南米へ。埋設電話線の断線箇所探しで、抵抗値を測定し、計算尺で距離を算出しすぐ見つけた。現地作業員は魔法でも見たように驚き、計算尺をねだったという。これぞ千葉工業卒生の面目躍如だ。

意志貫いて進学・自営に

工高卒者にとって一番悩ましいのは学歴問題かも知れない。「『大学とは何か?』それは何を学ぶべきかを学ぶところである。」(ベルリン大学・K・W・フンボルト教授)という言葉もある。4年間の差は大きく、独学では限界がある。学び直し転身する。仕事の力をつけるために夜学へ▼昇進はともかく仕事で大卒と差別されるのはつら

い。学力でなく社外人脈や情報の差を痛感した▼海外の邦人社長会で出身校を聞かれたが、皆は大卒だ。部下にソルボンヌ大卒の女性を抱えた時はやり難かった▼当初からの進学組で文系のD君は、NHK夜7時のニュースのアナウンサー。理系のE君はJR東日本で「新幹線の設計・工事に技術者として携われたのは幸せだった」と述懐する▼自営業も当時は電気工事・電器販売が主だが、今では大型店全盛だから。

先輩・後輩、母校、これから

優秀な先輩が多かった▼校名から自分まで同じに見られ、心強かった▼社内同窓会も最近は後輩が少なく下火に▼何と行っても就職できたのは母校ブランドのお陰だ▼シルクロード旅行でウルムチの大風力発電を見たF君。現地ガイドが「中国は世界2位だが1位は?」以前デンマークでトップと聞いていたから答えたら、「今まで900人の観光客を案内して来たが初の正解者です」。心の中で「千葉工卒だもの」と▼時節になると思う。ノーベル賞は工学賞がないから無理だが、甲子園は今世紀中に何とか▼今の若者の雇用問題は深刻だ。我々に出来る事と言ったら、政治を少しでも良くすることか。在校生は選挙権が無いし。

これからもこの集まり、きちんとした話と、今まで取り組んで来た「難病支援」「核廃絶」署名や良書交換も続けたい。昔、先輩に大学に行かなかった分「『人生大学』で学べ、教科書は、まず接した人、次は新聞」と言われた。この大学は卒業がないらしい。残された時間をどう生かすかが宿題のようだ。(構成・文責 福原 敏夫)



千葉工業高校この一年

創立記念講演会



平成22年5月7日、母校昭和32年度機械科卒業の大野一敏先生を講師に迎え、「我が青春と東京湾」の演題で、東京湾の環境問題などについて講演していただきました。

第65回国民体育大会100日前イベント



今年度は国体が千葉県で開催されました。残念ながら本校からは選手としては出場できませんでしたが、各競技の補助役員として参加しました。

このカウントダウンボードはコンピュータ技術研究部が製作し、6月20日のイベントで森田知事と点灯式をおこないました。

ものづくりコンテスト 全国大会出場

第5回若年者ものづくり競技大会 全国大会旋盤の部で谷口透君が敢闘賞、高校生ものづくりコンテスト旋盤部門では、西藤寛生君が千葉県大会で優勝、関東大会で準優勝し、全国大会に出場しました。旋盤競技同好会では2級機械加工技能士に高校生で初めて合格するなど、大活躍でした。



ロボット相撲 全国大会出場

機械発明創作部では、第22回全日本ロボット相撲関東大会ラジコン型の部で、齊藤龍一君が優勝し、第18回高校生ロボット相撲全国大会に出場しました。機械発明創作部ではロボフェスタ(8/10)や千葉市中央区ふるさとまつり(10/17)などにも参加しています。迫力あるロボット相撲をぜひ生でご覧ください。



定時制サッカー部 2年連続全国大会出場

今年度も6月におこなわれた千葉県定通体育大会サッカーで見事優勝し、2年連続全国大会に出場しました。また、11月の第25回関東地区高等学校定時制通信制サッカー大会にも出場しました。

山岳部 JOC出場



山岳部、新川裕希君が8月の第13回JOCジュニアオリンピック大会に出場しました。フリークライミングという人工のホールドを登る競技です。山岳部では2年連続出場しています。

修学旅行は今年も九州へ



10月6日から9日、今年の修学旅行は長崎、雲仙、福岡と九州でおこなわれました。平和学習や産業教育、災害についての理解を深めることや、仲間たちとの楽しい思い出も、とてもよい経験となりました。

第58回 千工祭



10月30日、台風の影響で風雨の強い中、千工祭がおこなわれました。当日は佐川副会長が委員長を務める「開かれた学校づくり委員会」が開催され、学校に対する貴重なご意見をいただきました。また、小学生親子ものづくり教室も開催され、大盛況でした。

総合技術コンクール 知事賞受賞

11月27日、千葉県工業系高校の生徒を対象に、第27回総合技術コンクールが本校でおこなわれました。日頃の学習活動で身につけた高度な技術を、10部門の競技で競い合います。本校では最高の賞である知事賞を以下の生徒が受賞しました。

溶接部門 後藤 尚紀君
機械設計製図部門 湯本 美沙樹さん
電子回路工作部門 高知尾 雄樹君 (定時制)
その他多くの生徒が入賞しました。



ベトナム国際交流事業



今年度も姉妹校でもある、ハノイ工科短期大学との交流事業がおこなわれました。

9月にはハノイ工科短期大学の校長先生と2名の教員が来校し、歓迎セレモニー、交流会、研修がおこなわれました。また、12月12日から18日まで、生徒5名、引率職員2名でベトナムを訪問しました。現地では大歓迎で迎えられ、交流会やロボットの共同製作や競技会などをおこない、アジアから世界に向けて貢献する技術者の育成におおきく役立ちました。

2年生がインターンシップ

今年度のインターンシップは平成22年9月から23年1月までの5ヶ月間でおこなわれました。企業は63社に生徒を受け入れていただきました。また、進学希望者は千葉工業大学で体験学習をおこないました。

芸術鑑賞会



11月9日、3年に1度の芸術鑑賞会が開かれました。今回はゴスペルということで楽しいお話やノリのよい曲とパワフルなダンスに会場も一体となり、楽しい一時を過ごしました。

就職内定者数109名(求人521社)

◆工業化学科◆ 旭硝子・イトーキ・京葉臨海鉄道・広栄化学工業・サン・アルミニウム工業・三和倉庫2人・住化カラー・JFEテクノリサーチ・進日本工業・千葉ヤクルト・電気化学工業・東海海運・東陽ガス・東レ・日東エフシー・日本ケープル・日本曹達・日立化成工業・富士フィルムRIファーマ・防災技術センター・三井化学・三井造船千葉機工エンジニアリング・理研ビタミン2人

◆電子機械科◆ 旭硝子・旭ダイヤモンド工業・旭テクネイオン・いすゞマリン製造・宇部興産・AGCエンジニアリング・合同資源産業・サンワ工事・JFE鋼管・JFEスチール・ジャパンペール・昭和産業・新興プランティック・新日本製鐵・住友化学・生活協同組合ちばコープ・高田工業所・寺岡ファシリティーズ・DIC3人・トーヨーカネツ・東京ガス・東海旅客鉄道・東電工業・東邦化学工業・東レダウコーニング・日鐵商事・日鐵物流君津・日本AEパワーシステムズ・東日本旅客鉄道・日立産機システム・日立ビルシステム・日立プラントテクノロジー・ピナンシステムサービス・富士興業・三井造船千葉機工エンジニアリング・明電環境サービス・モリタ環境テック・吉野石膏・ライオン

◆電気科◆ アラキ総産・イトーキ・宇部興産・宇部マテリアルズ・エスプリズム・王子コーンスターチ・カイデン・関工電設工業・関電工2人・貴修・山九2人・JFE電制・習和産業・清水商会・親和パッケージ・千葉電建・東京ガス・東京電力・東京めいらく・東芝エレベータ・新田防災・東日本電気エンジニアリング・増田電気・三菱化学メディエンス・三菱製鋼・三島光産・山口電気機械工務所・ライオンエンジニアリング・レンゴー

◆情報技術科◆ イーネット・君津共同火力・広友ロジックス・サンコーエアセルテック・山九・サンライズエンジニアリング・千葉マーク工業2人・東京電機産業・東京電力2人・朋栄

大学・短大48人 専門学校27人

千葉大学・北見工業大学・千葉工業大学20人・日本大学9人・江戸川大学・淑徳大学・神奈川工科大学・城西国際大学・実践女子大学・仙台大学・千葉経済大学・千葉明德短期大学・東京情報大学・東京電機大学・千葉職業能力開発短期大学校4人・千葉県自動車大学校3人・国際航空5人・日本工学院4人・日本電子4人・HAL東京4人・大原学園3人・東洋理容美容2人・ESPミュージカルアカデミー・音響芸術・国際理工・千葉医療福祉・日本動物21

新聞NEWS

読売新聞(H22.12.18)千葉版に電子機械科3年谷口透君と電気科3年小網達弥君が普通旋盤作業の国家技能検定に合格、県内初の高校生のニュースが報道されました。両君の今後の活躍、在校生の皆さんのチャレンジを期待します。

2級機械加工技能士
ちば教育
高校生の合格県内初
県立工業高校2校の3年生3人が、普通旋盤作業の国家技能検定に合格し、県内初の高校生2級機械加工技能士となった。合格したのは、県立千葉工業高校(千葉市)の電子機械科3年谷口透さんと電気科3年小網達弥さん、県立東総工業高校(旭市)電子機械科3年名雪光一さん。同技能士には特級と1、2、3級があり、実技試験で旋盤を使い、ねじ切りなどの加工を行う2級は2年以上の実務経験が必要で、受験者の大半が社会人だが、2005年度から3級に合格した高校生も受験できるようになった。

千葉工業高校吹奏楽部合同演奏会 Spring Concert 案内

- 日時 平成23年3月26日(土)
13:30 開場 14:00 開演
- 場所 千葉県教育会館大ホール
大ホール(定員500名)
千葉市中央区中央4-13-10
電話043-227-6141
- 入場 無料

現役生徒との合同演奏会です。大きなホールなので、同窓の皆さん是非ご来場ください。

演奏楽曲 (OB・OGの部)

1. 行進曲「秋空に」
2. ミュージカル「アニー」より【トゥモロー】
3. 情熱大陸セレクション
4. イギリス民謡組曲
5. アルメニアン・ダンスパート1 ほか

■ご案内図



- JR千葉駅より「大学病院行」バス
中央3丁目下車 徒歩約2分
- JR千葉駅より 徒歩約15分

同窓会幹事会の開催

通常幹事会を開催します。幹事(各クラスから選出, 各地域支部から推薦)と常任幹事はご参集ください。

- 日時 平成23年5月15日(日)
14:00 ~ 16:00
- 会場 千葉工業高等学校 会議室
(本館2階)
- 議事 会務報告・会務計画・他

★原稿・情報を、お待ちしております。

多くの皆さんの声を掲載して、身近な同窓会報を目指します。ご意見・提案、情報を事務局・編集委員までお知らせ願います。

広報編集委員会

★「同窓・千工会」地域支部会員、大募集

ご承知のように、我々は卒業したときに「終身会費3,600円」を納入して同窓会員となっています。しかし、地域支部に参加しなければ、その良さは実感できません。クラス会や職場千工会と違い、先輩・後輩の関係が深まり、異業種交流の機会にもなるはずです。

まだ入会されていない同窓生を、それぞれの地域支部が待っています。【地域支部の代表者と連絡先】を参考に、是非とも連絡してください。

◆編集後記◆

猛暑の夏、各国の異常気象、大学卒の就職難等昨年は大変な一年でした。前編集長の長谷川さんより5月に引継ぎました若月です。同窓会長も宮内さんから高橋さんに交代し、「楽しい同窓会」を目指し皆さんの協力を得ながら22号を発行できました。永峯元校長先生の「千葉工業歴代の校長について」を東葛支部報より加筆して転載させて頂きまし

た。今回からA4版で発行します。

広報編集委員の皆さんをご紹介します。
委員長：若月忠良(37M)、副委員長：住田敏和(31E)、事務局長：大塚昌男(46E)、委員：関口昌利(30M)、井上誠一(33E)、宇野昭房(34M)、大野繁樹(36M)、松崎文男(37M)、滝口貞一(40E)、橋本勇(42E)、松浦悟(53E)、大橋政孝(54E)、比連崎正幸(60M)

第26回「同窓祭」開催のご案内



同窓生の皆様お元気ですか。皆様のご支援ご協力により「同窓祭」も26回を迎えます。例年、吹奏楽部OB・OGの演奏・竹とんぼ教室等で盛り上がっています。

私ども同窓祭実行委員は同窓祭に参加される皆様が「参加して良かった。楽しかった。」と思っ

て頂けるようにと考えています。今年は、全員に参加賞や、幸運な方には賞品を用意することを検討しています。

今年も例年のように、9時から「スーパー竹とんぼ教室」を開催しま

す。懐かしい恩師の先生方も大勢お見えになります。同級生はもとより、クラブ活動、或いは通学を共にした仲間を誘って是非ご参加下さいますようご案内申し上げます。

同封の振込用紙にご出席の有無を記入して、会費また同窓会報基金に賛同いただける方は3月15日までに送金願います。なお、その近くにならないと都合がつかない場合は、当日会場で受付ます。その後の同窓会報基金の振込は、何時でも何口でも歓迎します。

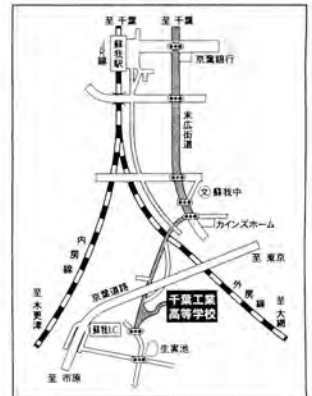


社会状況の変化から、既に学校敷地内での喫煙は禁止されており、飲酒についても好ましい状況ではなく、アルコール類は無しで実施することになりました。

- 日時：平成23年4月17日(日) 11:30～14:30
- 場所：千葉工業高等学校 食堂
- 会費：1,000円(払込用紙にて)



- ・卒業5年以内の同窓生と、ご家族のうち18歳未満の方は無料です。
- ・喜寿のお祝いを予定しております。生年月日の記入をお忘れなくお願いします。
- ・J R 蘇我駅より徒歩約20分、駐車場がないため、公共交通機関を利用し来校するようお願いいたします。



題字 安藤 信吉 (20M)

千葉工業同窓会報

第22号

発行日 平成23年3月1日
 発行者 千葉工業同窓会 会長 高橋 正己
 事務局 〒260-0815
 千葉市中央区今井町1478
 千葉県立千葉工業高等学校
 TEL043-264-6251 FAX043-268-5524